

近畿支部からの便り

2024年度、支部講演会と総会を開催しました。支部講演会は令和6年9月2日(月)大阪ガス御堂筋東ビル3Fホールにて開催しました。講師は著述家の「楠木新」氏で、講演会テーマは『「いい顔」で生きる』でした。講演中のお話で注目されたのは、自分の自由になる時間は、「黄金の15年」「プラチナの期間」を合わせると具体的にどのくらいの時間になるかというお話でした。ご講演を拝聴して、「黄金の15年」「プラチナの期間」の8万時間を「いい顔」で生きることができるよう、多くの時間を与えられたことを感謝しながらこれからの人生を歩んで行きたいと感じることができました。講演会の開催方式は今回もハイブリッドで開催し、参加者33名(リモート参加8名を含む。)でした。

2024年12月13日には支部総会・講演会を大阪ガス本社ビル3階ホールで開催しました。同窓会本部からは同窓会理事長で大学院経済学研究科長・経済学部長の若井克俊先生、同窓会常務理事で経済学研究科教授の田中彰先生、経済学研究科教授の諸富徹先生、経済学研究科教授の坂出健先生もご出席いただき、来賓の皆様を含め28名の方にご参加いただきました。理事長の若井先生には冒頭ご挨拶いただくとともに、経済学部の財政状況や今後の課題、同窓会本部の活動などについてもお話しいただきました。講演会には諸富徹先生にご登壇いただき「税という社会の仕組み」という演題でご講演いただきました。日本では税に対しては苛斂誅求のようなイメージが強い。つまり税金を払うのは、権利ではなく義務であるというイメージだ。それでは世界の歴史から税を考えていくとどうか。ホプズやロックが登場した時代から社会契約説が主張さ



全員で記念撮影

れはじめ、王権神授説が支配力を失うとともに私有財産制が始まった…など非常にタイムリーで興味深いお話を聴くことができました。懇親会は8階ガスビル食堂にて行われ、参加者は28名(出演者2名、来賓4名を含む)でした。懇親会の後半では京都大学文化サークル観風会さんによる和楽器の演奏となり、参加者皆が聞き入るほどの盛り上がりでした。

梅谷 幸弘 (平成3年卒)

今年度の活動予定 (詳細は別途ご案内致します。)

- 支部講演会
未定 (決定次第別途ご案内いたします。)
- 支部総会・講演会・懇親会
日時: 12月12日(金) 17:30
場所: 大阪ガス本社ビル

京都大学経済学部同窓会近畿支部
令和6年度(2024年度)近畿支部収支決算書

収支決算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
支部助成金	500,000	近畿支部講演会講師謝金	50,000
		近畿支部講演会開催費	249,700
近畿支部講演会懇親会収入	66,000	近畿支部講演会懇親会費	114,290
		近畿支部講演会講師等謝金	80,000
近畿支部総会収入	129,000	近畿支部総会懇親会開催費	226,160
		近畿支部総会開催費	72,050
預金利息	807	ホームページ維持費	6,600
		振込手数料	2,365
雑収入※	60		
収入計	695,667	支出計	801,165
前年度繰越金	1,426,888	次年度繰越金	1,321,590
合計	2,122,755	合計	2,122,755

※雑収入の60円は、令和6年12月19日の総会費用差額を97,160円引き出すべきところ97,100円を引き出したため実質60円の寄付となる。

財産目録

種類	預金先等	金額	摘要
普通預金	三井住友銀行大阪本店営業部	1,321,590	
現金		0	
合計		1,321,590	

京都大学経済学部同窓会 支部長 梅谷幸弘 殿
令和6年度(2024年度)近畿支部会計 監査報告
収支決算書及び財産目録について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。
令和7年6月20日 京都大学経済学部同窓会近畿支部 会計監事 林信博
令和7年6月20日 京都大学経済学部同窓会近畿支部 会計監事 内田博司